

(総会議事録例 (法第 25 条第 4 項関係) : 定款変更の個別具体例)

特定非営利活動法人●● 第○回通常 (又は臨時) 総会議事録

1. 日時: 年 月 日 時 分 ~ 時 分
2. 場所: ○○市□町○○番地○○ ○○会館会議室 (○○自宅)
3. 社員総数: ○名 (※注: 総会議事録では、この社員数=分母は必ず記載する)
4. 出席者: ○名 (うち 当日出席○名 書面表決者○名、電子メール表決者○名 委任状○名)
5. 審議事項
 - 第 1 号議案
 - 第 2 号議案
 - 第 3 号議案
 - 第 4 号議案

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 議長及び議事録署名人の選出

定刻になり、●●が開会に当り挨拶をし、開会を宣言した

次に、議長選出を諮ったところ、満場一致をもって●●を議長に (また○○を副議長に) 選出した。

続いて、議事録署名人として、□□と■■を満場一致で選出した。

(2) 議案の審議

【事例②: 法人事務所変更の場合の記入例 (定款第 2 条)】

①第 1 号議案 事業所所在地の変更

②第 2 号議案 定款の変更について

議長より、第 1 号議案と第 2 号議案は相互の関連しているので、一括して審議したい旨の提案があり、全員異議なく同意了承した。

○○から、事業拡充に伴い現在の事務所が手狭になったので、(別の例: 法人への訪問等の対応には、交通の便のよい市内中心部に事務所を確保した方がよく、安価な事務所を確保できたので) 事務所を移転し、それに伴い定款を下記のとおり (あるいは新定款の第 2 条のとおり) 変更したい、また、その他の事務所については、利用度が低いため廃止したい旨の議案説明があり、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく (全会一致で) (出席者の 4 分の 3 以上の賛成があり)、原案のとおり議決決定した。

(変更前)

(事務所) 定款第 2 条 この法人の主たる事務所は、. . . . に置く。

2 この法人は、前項のほか、その他の事務所を・・・・に置く。

(変更後)

(事務所) 定款第2条 この法人の主たる事務所は、・・・・に置く。

※「新旧対照表」の形式で作成してもかまいません。

内容が多岐に亘る場合は「別紙新旧対照表のとおり・・・・」という文言を入れ、別紙をつけます。

議長は、以上をもって本日のすべての議案が終了したと宣言し、〇時〇分閉会を宣言し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

注) 記名・押印が可能かは定款で確認してください

年 月 日

議長 署名又は記名・押印

議事録署名人 署名又は記名・押印

議事録署名人 署名又は記名・押印

【議事録作成の注意点】

○議事録の形式が定まっているわけではありません。しかし、公表に耐えうる正式な記録ですから最低限の記録内容は必要ですし、単なるメモと異なり、議事録署名人の署名押印が必要です。

○日時等の基本情報、議案～審議経過～結論（表決）を簡潔に記載します。

○総会開催時点の会員総数と出席者数（書面、委任者も含めます。その内訳数も記載）は必須です。

○「賛成多数で」と記載するだけでは不十分な議決案件があります。通常の決議は2分の1以上の賛成で可決ですが、「定款変更」「解散」「合併」等定款で特に2分の1以上の賛成率を求めているものもありますので、そこは注意して明確に記載します。もちろん「満場一致」「全会一致」であれば問題はありませんし、賛成数を記載してもかまいません。

○さまざまな意見が出た場合は、その要点（質疑）を記載するようにしますが、結論は明確に記載します。

